

ANALISIS HAIKU KONTEMPORER
DALAM SIARAN
UNIQUE HAIKU OU KETTEISEN (HOLOLIVE)

SURYA WAHID RAMADHAN

43131.520180.117

STBA JIA

2022

Abstrak

Haiku merupakan puisi terpendek di dunia yang berasal dari Jepang. Haiku memiliki unsur pembangun yang berupa kigo, kireji dan uta-kotoba. Selain itu haiku memiliki nilai tersirat dalam diksi yang digunakan atau dikenal sebagai gengai. Objek yang digunakan dalam penelitian ini berasal dari dua siaran pertandingan haiku yang dibawakan oleh *virtual youtouber* yang bernama Ookami Mio. Tujuan penelitian ini adalah untuk menjelaskan haiku kontemporer yang seringkali tidak terikat dengan unsur pembangun haiku seperti kigo, kireji, dan uta-kotoba. Penelitian ini bertujuan menjelaskan makna yang terdapat dalam haiku tersebut melalui diksi yang digunakan. Teori yang digunakan untuk menganalisis haiku kontemporer ini adalah teori dari Kawamoto Kouji. Selanjutnya untuk mengumpulkan data menggunakan metode kepustakaan. Dan metode penelitian ini menggunakan metode kualitatif deskriptif. Haiku kontemporer yang dianalisis memiliki syarat masih bersandar dengan konsep haiku pada umumnya yaitu fungsi haiku sebagai apresiasi sastrawan terhadap keindahan alam.

Kata kunci : *Haiku, Uta-kotoba, Hololive*

ユニーク俳句王決定戦「ホロライブ」の配信に現代的の俳句における分析

SURYA WAHID RAMADHAN

43131.520180.117

STBA JIA

2022

要旨

俳句は世界最低、日本の句である。俳句構成は季語、切れ字と詩言葉である。それに俳句は物事を直接に言えず、「言外」ということが含まれる。分析されている調査対象はバーチャルユーチューバー、ホロライブ種族の大神ミオにある二つのユニーク俳句王決定戦の配信である。本研究の目的は、現代的の俳句が要素構成の季語、切れ字と詩言葉に関係しれずに書かれ、大会に出された分析である。本研究の目的は俳句に使われた言葉の本意を説明する。現代的の俳句を分析に使われた理論は川本皓嗣の詩言葉理論である。さらにデータを収集するため、ライブラリー方式を使った。そして分析の方式は記述的定性的方法を使った。分析されている俳句は自然に感謝を語る俳人のように、普段的の要素構成に寄りかかり現代的の俳句を使っている。

キーワード：俳句、詩言葉、ホロライブ

第一章

初めに

A. 背景

川本（2015、05）は日本の句は明治時代に再び発展し始めた、和歌の成長は連歌、連句と俳句に続けられていた。この文学は明治時代以来に同じ値を持っている。この文学は詩の種族含まれている。生活を言葉に入れ込み、その言葉が詩を象徴するという文学である。

Pradopo（1999、6）は、連歌は言葉遊びや会話するの文学であり、それとも返信詩である。だから連歌は一人で作られないものだった。時代変化とともに連歌は俳句に変わった。

この変化とともに現代俳句にある構成も変わっている。

B. 問題の定式化と問題の焦点

1. ユニーク俳句王決定戦「ホロライブ」にある俳句の季語と切れ字はなんだ。
2. ユニーク俳句王決定戦「ホロライブ」にある俳句のディクショント本意はなんだ。
3. ユニーク俳句王決定戦「ホロライブ」にある俳句はどんなメッセージが伝えるか。

第二章

理論的な基礎

A. 日本文学

Asoo (1983, 5) は、日本は中国から文学を採用した。中国の文学の構成の中に輸入した構成が最も絵協され日本文学に新たなページを開いた構成は漢字である。漢字の存在で日本人が文学を書かれる。

それに Asoo (1983, 4-250) は、日本は時代の時代に対して様々な種類がある。上代時代には八つの文学が背徴していた、それは神話、伝説、説話、祝詞、宣命、万葉集、関心文と上代時代の歌。平安時代には関心文、和歌、歌謡、歴和とおとぎ話が成長につれて、物語と日記が出現した。中世の文学は、特に和歌、物語、日記が成長し、連歌、御伽草子、演劇、歌の文学が出現しました。近代以前には様々な文学が発展した。その中には仮名草子、宇木洋三氏、じょるり、歌舞伎、川柳、狂歌、国学、関心文、草双紙、読み本、シャレン本、人情本と滑稽本。そして現代時代には日本の文学は小説や批評の出現、演劇、詩、短歌の発展し、そして俳句文学の出現によって劇的な変化を遂げた。

B. 俳句

明治の初期時代に出現した俳句は詩言葉を守った。詩言葉は純粹で優雅な日本語だ、外来語を使わず言葉である。詩言葉の特徴は耳に良いものである。

出現した現代的な俳句は普通の詩言葉を使わずに書かれていた。ダジャレ、同音異義語、熟語、字余り、と擬音語見たいな異変が含まれている。しかしその異変を持ちながら俳句の中に季語の構成を含まれるまま書いてある。

C. 俳句の成長に対してデジタルメディア

時代につれて俳句の機能も変わっている。最小の機能は書き、読みに楽しんでいる、本にされているだけである。現在は世界中に見られる配信メディアになった。ホロライブプロダクションの種族バーチャルユーチューバーの大神ミオが俳句大会を計画し、現在の俳句の機能を広がり、実現した。

第三章

研究方法

A. 研究方法

方法論は、研究プロセスで使用される仮定、値、基準、およびデータの収集と分析で使用される技術を含む、研究プロセスと規則の科学いわゆる哲学である。(Harahap, 2001, 71)

だから Sutedi (2009, 52) は、研究がうまく行けるように適当な方法論が必要だ。なぜかという、方法論は分析を答えるため満たさないといけない方法や手順である。

研究者が使用する調査方法は、記述的定性的方法である。Saryono (2010) は 定量的アプローチでは説明、測定、または説明できない社会的影響の質または特権を調査、発見、説明、および説明するために使用される調査である。

B. 調査手順

よく分析するため三つの段階を行った。それは最初の段階、実装の段階、最終の段階である。

最初の段階はテーマを用意し、題名を選び、問題の定式化と焦点を決定し方法論を決定し、書記体系を整え始めた。

次は実装の段階でテーマに関する論文や本を探しデータ収集する。それ以外にはテーマに関するデジタル論文や E-Book などデータ収集する。そして得られたデータを精緻化し分析する。

最終の段階は得られたデータを記録し、報告し、相談し、そして報告を試す。

C. データ収集

ライブラリー方式を使用し、文書研究でデータを集める。研究者は二次のデータ、E-Book や論文を集め、学び。その中に使われた論文は例えば俳句における美意識についての論文、俳句の持つメッセージ性についての論文、季語のことを書いた記事、桜の花にある意味の本などテーマに関する論文を

使用した。そして使用されたデータを種類に分け、使用するデータを決定する。集められたを分析する。

D. 分析方法

川本皓嗣の詩言葉と言外理論でユニーク俳句王決定戦の配信に現代的の俳句に対して図る基準をした。現代的な俳句に対して構成洋装は使われるかどうか分析する。例えばその現代的な俳句には季語や切れ字が使われるか、そしてどんな言葉が使われるか、そしてその言葉は詩言葉としてグループにするんをできるか、最後にその言葉の分析をつかい、どんなメッセージが残されたかそれとも何かを伝えたいのかを分析する。

第四章

データ分析

A. データ分析

データ 1

カエルさん あなたはどこに カエルか言え

この俳句は普段の俳句みたいの切れ字が持っていなかった。この俳句に季語カエルのカエルさん。このカエルは雨季の季節を表現した。この俳句は詩言葉の構成を持ち入れたが、同時にこの中にカエルさんと帰るのダジャレ、同音異義語が含まれた。この俳句は「カエルすら逃がさない、帰る道を圧で聞く」と文字通りの意味を持っている。

データ 5

降りやまぬ 雨がジャバジャバ シャワー気分

この俳句は季語の後ろに切れ字を持っている。この俳句は「雨」の言葉を使って雨季の季節を表現した。この俳句はフレーズに詩言葉の理論を使っていたが普段の俳句より新たな構造が含まれた。この俳句は文字通りの意味を持っている。

データ 9

たまにいる 唇まっさお 大丈夫か

この俳句はフレーズ三に切れ字があり、終助詞に関して働いた。この俳句の季語は文字通りに従えば、冬の表現に見られたが、この俳句は夏に書かれたから、夏の季節を表現した。この俳句は文字通りの意味を持っている。この俳句の俳人は「唇はそんなに青くなっただが、大丈夫ですか」と、相手に聞きたいというメッセージを入れ込まれた。

データ 11

ビート板 四枚重ねても おぼれんで

この俳句は普段の切れ字を含まれていないが、フレーズ三には「んで」という現代的な切れ字が含まれ普段に使われている切れ字を代わりにした。この俳句は含まれた構成、和語と外来語で混ざり込みものである。この俳句はフレーズ二には字余りがある。この俳句は文字通りの意味を持っている。

「泳ぎできなかった人には、ビート版4枚使ってもまだおぼれる」という意味を持っている。

第五章 結論と提案

A. 結論

1. 季語と切れ字

使用された 30 のデータのすべてが季語を持っている。しかし切れ字は八つのデータが普段の切れ字を使い、五つのデータが普段の切れ字の代わりになれる、新しい助詞を使い、17 のデータが切れ字を使っていなかった。

2. ディクシオン

使用された 30 のデータで八つは詩言葉を使い、六つのデータは詩言葉を使わず、16 のデータが異変を持っている。

3. メッセージ

使用された 30 のデータで 25 のデータが文字通りに意味を持ち、13 のデータが言外の意味を持ち、八つのデータが文字通りの意味と言外の意味を持っている。

B. 提案

日本語学者には、この研究は様々な文学を利用し、特に俳句で知識と理解を高める為に行った。日本の詩文学、特に俳句の研究をする研究者には、現代的の俳句についてや、変化のことを特定するほうがいいと思われる。